

# 橋梁長寿命化修繕計画



平成 25 年 2 月

大任町事業課土木係

# 1 . 長寿命化修繕計画の目的

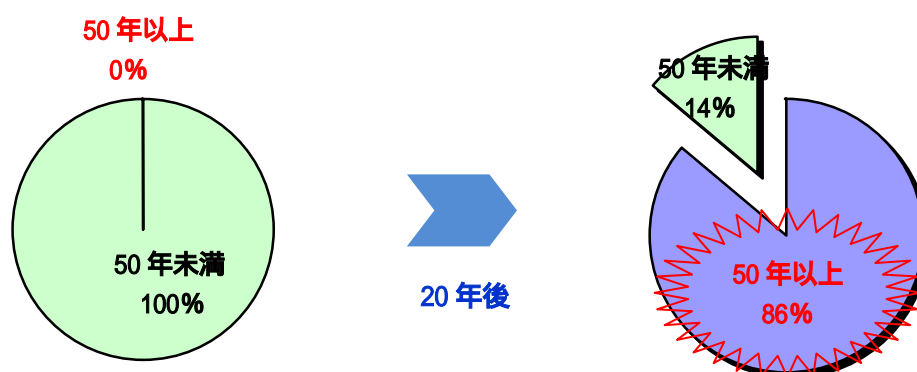
## 1) 背景

・大任町 事業課 土木係が管理する道路橋（橋長 2m以上）は、現在 71 橋あります。  
その中で、橋の寿命といわれる 50 年を経過する橋梁は現時点では存在しません  
**20 年後の平成 44 年には 86%程度**を占め、急速に高齢化が進みます。

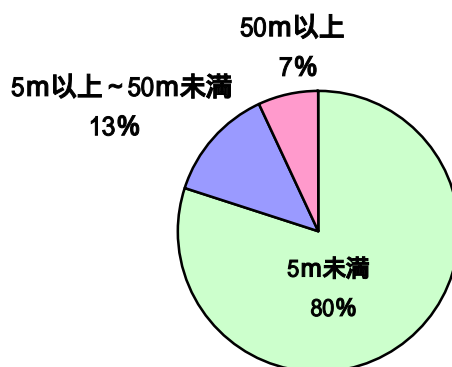
これらの橋梁が老朽化を迎える中、従来の事後保全型の維持管理を継続すると、橋梁の修繕や架け替えに要する費用が急激に増大し、対応が困難になることが予想されます。また、橋梁の老朽化を放置すると、安全で安心な道路利用を妨げる恐れが発生いたします。

平成 24 年度(2012)  
建設後 50 年以上・・・0%

平成 44 年度(2032)  
建設後 50 年以上・・・86%



・管理する橋梁の橋長は全 71 橋中、5m未満の小規模な橋梁が 80%を占め  
橋長 5m以上 50m未満は 13%、橋長 50m以上の橋梁は 7%となります。



## 2) 目的

今後は、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠です。

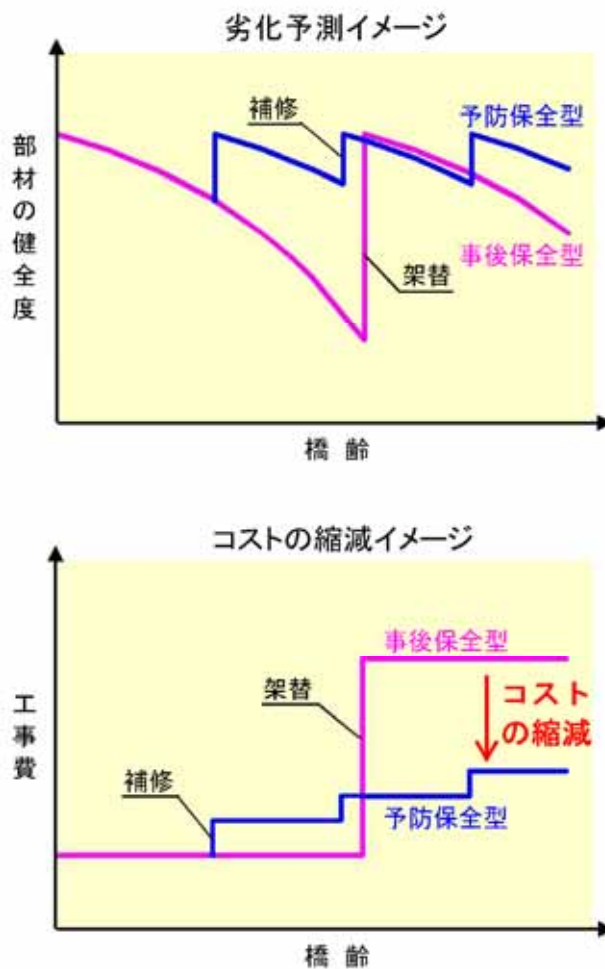
コスト縮減のために、従来の「事後保全型」から、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う「予防保全型」への転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

大任町では、将来的な財政負担の軽減および道路交通の安全性の確保を図ることを目的とし**長寿命化修繕計画**を策定することとしました。

## 2. 橋梁の長寿命化に係る費用の縮減に関する基本的な方針

橋梁長寿命化修繕計画に沿った計画的かつ**予防的な修繕対策**を徹底することにより、全体的な事業費の大規模化及び高コストを回避し、長期的な**ライフサイクルコスト**の**縮減**を図ります。

### 【橋梁長寿命化修繕計画のイメージ図】



#### 予防保全型

損傷が小さいうちに予防的な対策を行うため、補償費用も安価に抑える事ができ、橋梁の寿命が長くなり、修繕費用を最小限に抑えられます。

#### 事後保全型

損傷が大きくなってから対策を行うため、大掛かりな補修となる場合があり、工事規模が大きく多大な費用が発生する。

### 3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

平成 24 年度は 71 橋中 35 橋において点検を実施しております。

残りの橋梁 36 橋については平成 25 年度に点検を実施し、全橋梁を対象とした長寿命化修繕計画を策定する予定としており、現在、計画策定に向けて取り組みを進めているところです。

#### 1) 平成 24 年度 点検橋梁数 (35 橋)

- ・ 橋長 5m以上の橋梁
- ・ 交通量の多い橋梁
- ・ 小・中学校の通学路内の橋梁

など

#### 2) 平成 25 年度 点検橋梁数 (36 橋)

- ・ 平成 24 年度点検橋梁以外のすべての橋梁

#### 対象橋梁

	一級 町道	二級 町道	その他 町道	合計
全 管 理 橋 梁	5	17	49	71
うち計画の対象橋梁数	5	17	49	71
平成 24 年度の点検橋梁数	5	8	22	35
平成 25 年度の点検橋梁数	0	9	27	36

#### 4 . 橋梁長寿命化修繕計画の流れ

橋梁長寿命化修繕計画は、損傷状況に合った適切な補修補強等の修繕対策を実施できるよう、定期的に橋梁を点検し、実情に合った修繕計画の見直しを行います。

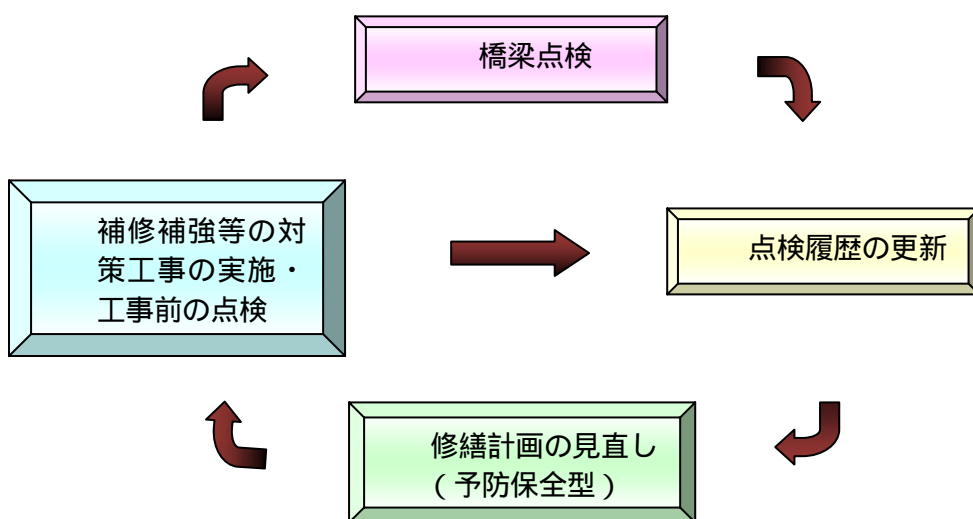
橋梁点検を行い、損傷の早期発見や損傷内容を把握します。

橋梁点検ごとに履歴を更新し、損傷状況等の最新情報を把握します。

橋梁点検のデータを基に、橋梁部材の劣化予測を行い、橋梁長寿命化修繕計画を見直します。

橋梁長寿命化修繕計画を見直しなが、補修や補強などの対策工事を実施します。また、対策工事の際は橋梁点検も併せて行います。

#### 【橋梁長寿命化修繕計画の流れ】



## 5. 大任町が管理する代表的な橋の紹介



遠賀川の支流である彦山川を横断する橋梁は橋長も長く、架設年度も古いことから修繕費がかさむことが予想されます。

## 6. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者

橋梁長寿命化修繕計画の策定に際し、有識者の有益なご助言を得る場として、「学識経験者の意見聴取の場」を設けました。

橋梁修繕計画における課題や問題点などを挙げ、効果的な取組体制を築くための議論を行いました。

### 1) 計画策定担当部署

福岡県田川郡大任町役場 事業課 土木係  
問い合わせ先：0947-63-3001

### 2) 意見を頂いた学識経験者

福岡大学大学院 工学研究科 添田 政司 教授



【意見聴取会風景】